

札幌市アイヌ施策推進計画検討委員会

－委員名簿－

委員長

常本 照樹 北海道大学 大学院法学研究科長
アイヌ・先住民研究センター長

委員

阿部 一司 社団法人北海道アイヌ協会札幌支部 支部長

江本 秀春 札幌人権擁護委員協議会 会長
弁護士

貝澤 文俊 社団法人北海道アイヌ協会札幌支部 事務局長

堺 黎子 公募

佐々木 洋子 公募

島崎 直美 社団法人北海道アイヌ協会札幌支部 副支部長

高田 敏春 札幌商工会議所 理事・事務局長

本田 優子 札幌大学 文化学部長

吉川 秀樹 札幌市立栄緑小学校 校長

(委員は五十音順・敬称略)

札幌市アイヌ施策推進計画素案に対する

ご意見募集結果と札幌市の考え方

1 ご意見募集実施の概要

- (1) 実施期間
平成 22 年 7 月 5 日(月)～平成 22 年 8 月 3 日(火)
- (2) 資料配布場所等
ホームページ「札幌市アイヌ施策推進計画」
札幌市役所本庁舎（1 階ロビー、2 階行政情報課、13 階アイヌ施策課）
各区役所総務企画課
各まちづくりセンター
札幌市アイヌ文化交流センター（札幌市南区小金湯 27 番地）
ふれあい広場（地下鉄大通駅コンコース）

2 ご意見提出状況

- (1) ご意見を提出された方の数：7 名
- (2) ご意見の数：7 件
- (3) ご意見の内訳

計画全体		1 件	
計画の策定にあたって		0 件	
第 1 アイヌ民族に関わる歴史的経緯		0 件	
第 2 アイヌ民族の現状と最近の動き		1 件	
第 3 札幌市が推進する 施策	1 札幌市アイヌ施策推進計画の目的	0 件	
	2 計画の体系	0 件	
	3 施策目標と 推進施策	市民理解の促進	3 件
		伝統文化の保存・継承・振興	0 件
		生活関連施策の推進	2 件
		国の立法等の動向と関連する施策	0 件
4 計画の推進	0 件		

3 ご意見の内容と札幌市の考え方

計画の項目	ご意見の内容	札幌市の考え方
計画全体について	<p>こういう計画を進めることで、和人との間に溝を作ることにならないか心配だ。</p>	<p>アイヌ民族は先住民族であることから、アイヌ民族のアイデンティティを尊重した施策を進めることが、国や本市の基本認識です。アイデンティティを尊重した施策を推進することで、市民の理解が進み、アイヌ民族や文化との一層の共生が図られることから、溝を作るようなことにはならないものと考えております。</p>
<p>第 2 アイヌ民族の現状と最近の動き</p>	<p>現在の差別の実態について、判明しているのであれば、記載すべきではないか。</p>	<p>平成 20 年度の北海道大学の調査では、アイヌ民族として嫌だと感じる点として「差別の経験」を上げるアイヌ民族の方が相当いらっしゃる事が判明しております。本計画は、この調査結果も踏まえ、そのような実態を解消していくための施策を盛り込むことに主眼がありますことから、個々の現状データについては掲載しませんでした。</p> <p>なお、北海道大学の調査結果につきましては、下記の URL でご覧になれます。 http://www.city.sapporo.jp/shimin/ainushisaku/kaigi/01_sankoshiryo3.pdf また、冊子で入手したい方はアイヌ施策課までご連絡願います。</p>

計画の項目	ご意見の内容	札幌市の考え方
<p>第3 札幌市が推進する施策</p> <p>3 施策目標と推進施策</p> <p>(1) 施策目標1</p> <p>市民理解の促進</p>	<p>「市民理解の促進について」</p> <p>アイヌ施策は、北海道が行っているものと思っていた。札幌市もこれまで、種々の施策を行っていたことを、今回はじめて知った。</p> <p>アイヌ施策について、市民は知らない。アイヌ民族についても、実態などについて断片的に、報道されるが、よくわからない。</p> <p>札幌市が計画を定めて、施策を推進することは、良いことだと思うが、その必要性、アイヌ民族の状況、国や北海道の施策について、十分、市民の理解を得ることが必要である。</p> <p>市民の理解を得る努力は、行政のみの責任ではなく、アイヌ民族やアイヌ民族の団体の責任でもあると思う。</p>	<p>札幌市では、従来から、アイヌ民族、その歴史や文化について市民に理解していただくため、札幌市南区小金湯のアイヌ文化交流センターを拠点にさまざまな市民向けの講座や行事を実施してまいりました。実施にあたりましては、アイヌ民族関係団体等と密接な連携を図ってまいりました。</p> <p>今後も、これらの団体等との連携を保ちながら、市民理解の促進を図る取組を進めてまいります。</p>
	<p>札幌の街では、開拓期のものが目につき、それ以前にアイヌの人たちが住んでいたことが分からない。開拓期以前の歴史について、市民にしっかりと分かってもらう必要があり、そのための取組が必要だ。</p>	<p>本市にはアイヌ語由来の地名もあることから、地名の解説をしたり、広報誌等でアイヌ民族や歴史についての記事を掲載したいと考えております。また、アイヌ民族や文化を象徴するモニュメントを市街地に設置したり、観光施設等でアイヌ語案内表記を行うことで、市民や観光客の方に本市とアイヌ民族の歴史の関わりについて知ってもらえるよう、取り組んでいきたいと考えております。</p>

計画の項目	ご意見の内容	札幌市の考え方
<p>第3 札幌市が推進する施策</p> <p>3 施策目標と推進施策</p> <p>(1) 施策目標1 市民理解の促進</p> <p>ア 推進施策1 伝統文化の啓発活動の推進</p>	<p>新聞紙上で、アイヌ文化のことなどがよく記事で取り上げられており、市民の関心は高いと思う。身近な地域でアイヌの文化のことなどが学べる場所があればよい。</p>	<p>札幌市では、南区小金湯に「アイヌ文化交流センター」を平成15年から開設し、展示コーナーを設けるとともに、市民向けの学習講座や小中高校生等を対象にしたイベントを実施しております。講座については、エルプラザ等でも実施していますが、地域レベルでは数が十分でないことから、今後区民センター等を活用し実施していきたいと考えております。なお、北海道では、かでの2.7の中に「北海道立アイヌ総合センター」を開設し、資料展示室等を設けております。</p>
<p>第3 札幌市が推進する施策</p> <p>3 施策目標と推進施策</p> <p>(3) 施策目標3 生活関連施策の推進</p> <p>ア 推進施策1 産業振興等の推進</p> <p>(ア) 今後実施する施策</p> <p>b 民芸品展示販売スペースの設置</p>	<p>民芸品の展示販売とブランド化や産業振興の結び付きが分からない。展示販売だけで1つの産業を興すというのは、むずかしいのではないかと？</p>	<p>民芸品の展示販売スペース設置について試行実施することで、貴重な技術が伝承されていることを市民に知っていただき、またブランド化についての課題等を把握していきたいと考えております。そのような取組を経てスペースを常設し、アイヌ民芸品のブランド化を進め、市民や観光客による一層の購買を図り、産業振興に結び付けていきたいと考えております。</p>
<p>第3 札幌市が推進する施策</p> <p>3 施策目標と推進施策</p> <p>(3) 施策目標3 生活関連施策の推進</p> <p>イ 推進施策2 生活環境等の整備</p>	<p>アイヌ民族にとって一番の関心事は生活向上だと思うが、生活支援のための助成などの具体案がないのは不十分ではないか。</p>	<p>本市では、国及び北海道の補助を得ながら住宅資金貸付を従来から行っており、これについては今後も継続していきます。また、生活支援のための様々な助成等は、主に北海道で既に行っていることから、今回の計画では市による新たな助成制度等は盛り込んでおりません。なお、生活支援に関わる雇用施策や教育施策につきましては、国の立法等の動向と関連するため、国のアイヌ政策の動向等を見極めながら、今後検討してまいりたいと考えております。</p>

4 札幌市アイヌ施策推進計画素案の修正箇所

修正箇所はありません。

札幌市アイヌ施策推進計画

【発行】 札幌市市民まちづくり局市民生活部アイヌ施策課
札幌市中央区北1条西2丁目
TEL011-211-2277 Fax011-218-5153
ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/shimin/ainushisaku>



01-A01-10-817

22-1-45